

平成 2 9 年  
第 1 回（3 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通告者	1	番	城後 光	議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 交流人口から定住人口拡大施策について</p> <p>(1) 町主催行事に限らず、町職員が土日の勤務時間以外に、イベント準備運営に関わっており、本人はもとより家族の負担も相当なものと思われる。イベント運営体制を見直して、各職員の本来の業務に注力できるように、負荷軽減を早急に行うべきではないのか。</p> <p>(2) 主催団体を問わず、イベントの実働部隊となっている観光協会には企画運営の前面に立って行動されている。しかし、波佐見焼振興会と兼務にて業務を行っている部分もあり、業務増大に応じた人員体制がとられているとは思えない。町職員派遣を含め、組織体制の見直しが必要ではないのか。</p> <p>(3) 大小問わず町内事業者の多くが、若年者減少及び退職者増により人手不足が深刻化している。ハローワークなど職業案内施設が存在しない本町においては、人材募集を一元的に行う機関が必要ではないか。また、町内開催のイベントの機会にも、採用情報提供を行うべきではないのか。</p> <p>(4) サービス業に従事する女性労働者が増加する中、経験者等のボランティアを活用して、土日における児童の一時預かり施設を新設する考えはないのか。</p> <p>2. 町内のインターネット環境整備について</p> <p>(1) 町外訪問者の多い、西の原地区からやきもの公園一帯、鬼木棚田周辺から中尾山交流館にかけてのルートなど、観光周遊ルートにおいて公衆 Wi-Fi 環境を整備すべきではないか。</p> <p>(2) インターネットを利用した情報発信の機会が増えることに対応して、町外からネット関連事業者の誘致もしくは新規拠点開設のための働きかけを行う考えはないのか。</p> <p>3. 学校教育における ICT 活用方針について</p> <p>2020年度から順次、ICTをさらに活用した学習指導要領が進められる見込みである。しかし、現在本町では、タブレット端末配布などのハード整備、プログラミング指導体制などのソフト整備が十分でない。</p> <p>(1) 南島原市や武雄市などで行われているように、民間企業のサポートによる ICT 教育に向けた積極的な対応を行っていく考えはないのか。</p> <p>(2) かなりのスピードで進む技術進歩に対し教職員をサポートする意味で、</p>					

財政支援を募ったうえで総合学習の時間などにICTに精通した外部講師を導入する考えはないのか。

質問の相手

町長、教育委員長

通告順位	2	通告者	11番	太田 一彦	議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 産業廃棄物とリサイクルについて</p> <p>(1) 12月議会で一般質問の答弁によると、本町の主産業である窯業関係の事業所から出される廃棄物は、最終処分場を設けずにリサイクル化を推進し、廃棄物の最小限化を図る方針を示されている。現況はどのようになっているのか。また、廃棄物の全体量は把握されているのか。</p> <p>(2) 廃棄物の中で、リサイクルできるものはリサイクル業者へその他の物は最終処分へという事であるが、リサイクル業者の育成をどのように進めていくのか。</p> <p>(3) 現在、リサイクル率はどの程度か、また今後どの程度まで引き上げていく方針か。</p> <p>(4) こうした方針と状況を業界関係者にどのように周知し、リサイクル化を実施していくのか。</p> <p>2. 施政方針について</p> <p>窯業の振興について、窯業関係の事業所等は、高齢化や人手不足が慢性化している。その対策の一つとして、平成27年度から開始された研修制度である「窯業人材育成事業」では、28年度、新たに3名の支援が行われている。</p> <p>(1) 効果等をどのように分析されているか。</p> <p>(2) 今後の施策として、この方法のままで良いと考えるか。他に考えられないか。</p>				

通告順位	3	通告者	12番 堀池 主男 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 役場庁舎建設について</p> <p>(1) 平成27年10月に外部からなる庁舎建設委員会を設置され、昨年12月定例会の一般質問では、4回開催したとの答弁だったが、その後、委員会は開催されたのか。</p> <p>(2) 先の一般質問では、庁舎建設については、補助事業というのが全くないので、全てが町の持ち出しとの答弁であったが、国では、地方財政措置（公共施設等適正管理推進事業債（仮称））が創設される。  昭和56年の新耐震基準導入前に建設され、耐震化が未実施の市町村の本庁舎の建て替え事業等に対して、交付税措置のある有利な起債（借金）が導入できることとなっているが、この件について、協議・検討されたか。</p> <p>2. 教育施設について</p> <p>(1) 歴史文化交流館（仮称）の完成後は、舞相にある教育委員会分室は、移転するが、残された建物・土地などはどうする考えか。</p> <p>(2) 歴史文化交流館（仮称）を総務文教委員会で説明を受け、その後現地調査を行った。展示会などで町内外から多くの方が来館されると思うが、今、計画されている駐車場は大丈夫なのか。</p> <p>3. 施政方針について</p> <p>(1) 公共下水道は、事業着手してから20年が経過しており、工事後、道路がかなり傷んでいるところが出ているが、今後、道路整備計画は、どうなっているのか。</p> <p>(2) 特殊詐欺や訪問販売などの多様化する悪徳商法や商品から消費者の安全と安心を確保するために、県と連携した相談体制の充実に努めるとともに、被害防止のための啓発活動をなお一層強化することのことだが、今までの相談体制はどうだったのか。また、今後の取り組みと対策等について具体的に問う。</p>		

通告順位	4	通 告 者	5	番 協坂 正孝	議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. ごみ処理施設の改築工事及びごみの減量化について</p> <p>(1) 東彼地区保健福祉組合で建設中の、ごみ処理施設の概要について  現在稼働中のごみ焼却施設の隣接地に、新しい施設が建設中である。この施設の改築工事の経過、面積、主な設備、処理能力、稼働時期、経費等はどのようにになっているのか。  また、町民への周知はどのようにされたのか。</p> <p>(2) 食べ残しを減らし、食品ロスをなくそうとする「3010運動」が、全国的に広がりつつある。また、本県では「エコ&amp;ヘルシー長崎推進事業」を始めるといふ。まだまだ家庭・事業所に限らず、食品から発生する生ごみは多いものと思う。食品ロスやごみの減量化を図るため、このような運動の普及・啓発を推進してはどうか。  また、生ごみのリサイクルとして、住居近くに田畑や庭を所有されている家庭にあっては、野菜や果物のくずなどの生ごみをできるだけ土に戻し、ごみの排出削減に協力されるよう、啓発できないか。</p> <p>2. 町公共施設の電気供給契約について  電力自由化で、電気供給契約が多くの電力会社から選べるようになり、使用形態によっては、より有利な契約が可能になった。町公共施設の現在の契約状況及び年間の使用料金はどうか。  また、電力自由化に伴い見直しを行う考えはないか。</p> <p>3. 施政方針について  総合教育会議が設置され、町長と教育委員会が一体となって教育行政を推進する体制となるなど、教育を取り巻く環境は大きく変化したとあった。大きな変化とは、具体的にどのようなことか。  また、会議の開催状況や協議内容はどのようなものか。</p>				

通告順位	5	通告者	7 番 中尾 尊行 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 選挙における投票率の向上について 過去3回、町議会議員選挙の投票率が低下しているが、その対策は。</p> <p>2. 学校給食について</p> <p>(1) 学校給食の現状はどのようになっているか。また、その課題は。</p> <p>(2) 食生活の重要性を学ぶための食育を行う中で、学校給食はどのように進められているのか。</p> <p>(3) 子育て支援として学校給食の無償化は考えられないか。</p>		

通告順位	6	通告者	4 番 北村 清美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 本町の過疎化対策について</p> <p>(1) 20年後の東地区（特に中山間地域）の人口減少が予想される。少しでも人口減少を防ぐために、空き家活用促進事業、リフォーム、定住奨励金等の増額を検討できないか。</p> <p>(2) 土砂災害防止法が制定されているが、本町の対策は。</p> <p>2. 三股、中尾、鬼木、金屋、川内郷にまたがる、(仮称)波佐見山の手観光ロードについて</p> <p>(1) この一帯は、ほかに類を見ないロケーションを含めた観光資源があり、これらをつなぐ道路整備ができないか。</p> <p>(2) 鬼木、金屋神社に至る道路は車の離合ができないため拡幅できないか。</p> <p>(3) 波佐見オルレを申請できないか。</p>		

通告順位	7	通告者	10番	川田 保則	議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 農業政策について</p> <p>農政空白20年と言われるように、農政に長期停滞感が漂い、改革を待望する空気が政府や経済界の一部にある。こうした中で徐々に農政改革が動き出し、期待が高まった。ただその中身は政策としての具体性を欠くという印象がある。激動する農業政策の今後について伺う。</p> <p>(1) 米政策の見直しとして、産地主体需給調整とあるがどのように進めるのか。</p> <p>(2) 農事組合法人制度を今後どのように取り組むのか。</p> <p>2. 町道南部線の一部に未完成区間があるが改修の予定はあるのか。</p>				

通告順位	8	通告者	9 番 尾上 和孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 医療用ウィッグ購入補助金について</p> <p>現在、死因の3分の1が癌で亡くなられていると言われている。            癌と闘うには、当人は勿論、家族も精神的、経済的にも大きな負担になる。            抗がん剤治療においては、手足の疲れ、吐き気、食欲不振、倦怠感など、            様々な副作用を伴う。</p> <p>特に女性にとって、脱毛は精神的にもかなりのショックがあり、深刻な悩みの一因でもある。</p> <p>ウィッグを付けることによって、人前に入るのも前向きになることから、            医療用ウィッグ購入費の助成金制度を設けられないか。</p> <p>2. 婚活・移住・定住促進対策について</p> <p>平成29年1月末現在、波佐見町の人口は15,000人を切り、14,972人になった。</p> <p>全国的にみても人口減少傾向にある。今後、婚活・移住・定住促進対策について、どのような企画があるのか。</p> <p>老後も見据えた中で、安心して住めるまちづくりも定住につながると思うが、考えを問う。</p>		

通告順位	9	通告者	3	番	三石 孝	議	員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 歴史文化交流館（仮称）について</p> <p>(1) 物件取得の経緯の詳細は。</p> <p>(2) 建設検討委員会の役割は。</p> <p>(3) 取得経費の内訳と償還の計画はどうなっているか。</p> <p>(4) ランニングコストをどのように考えているか。</p> <p>(5) 費用対効果を十分検討したか。</p> <p>(6) 町民の理解は得られているのか。</p>						